

伝統文化交流事業 in ゆとろぎ

ゆとろぎ伝統文化ウイーク

平成二十七年一月十日(土)～十八日(日)

茨城県磯節保存会公演

ひたちなか市那珂湊の郷土芸能の民謡と、はむらの子どもたちの踊り

【第一部】

羽村市日本舞踊若竹の会

歌舞伎踊
相馬盆歌
伊勢音頭
黒田節 他



【第二部】

茨城県磯節保存会

磯節
那珂湊八朔祭り囃子
茨城大漁節
網のし唄 他



1月10日(土)

開場 13:00 開演 13:30

入場無料 先着 800人

(入場券はゆとろぎ窓口にて配布しています。1人3枚まで)

会場：大ホール (全席自由)

ゆとろぎ演芸公演

江戸を感じる初笑い

【出演】

前座 三遊亭遊かり
落語 桂 宮治
落語 春風亭昇太
落語 三遊亭遊雀
漫才 ナイツ
落語 三遊亭小遊三



チケット残りわずか

1月16日(金)

開場 18:00 開演 18:30

大人 <前売り>2,000円
<当日>2,200円

小人 1,000円(小学生～高校生)

未就学児入場不可

(保育有＝要予約・有料)



会場：大ホール (全席指定)

ワークショップ開催

参加費無料

1月11日(日) 13:30～

「鳴り物」などの解説のほか、高座も予定しています。

定員 250人 (先着順)



会場：小ホール (全席自由)

アイヌの人々のお話と、唄と踊り



【第一部】

アイヌの人々の生活と信仰 唄と踊り

ウタリオープンパレワ(輪踊り)・シッコヨイ(豊年踊り)

【第二部】

アイヌ伝統文化の伝承と復元・創造

イタオマチ(外洋船)復元のお話と、伝統を受け継いだ現代の音楽

1月17日(土)

開場 16:30 開演 17:00

入場無料 先着 800人

(入場券はゆとろぎ窓口にて配布しています。1人3枚まで)

会場：大ホール (全席自由)

五十嵐 誠 木工展

— 組む技法 —



伝統技法を駆使した木組みの技を箱物、実用品で表現します。また羽村の「一本杉」枯木をテーマにした作品も展示します。木のぬくもりと生命力を感じてください。

1月10日(土)～18日(日)

10:00～17:00 (最終日は16:00まで)

入場無料

会場：展示室

羽村市文化協会共催 初春邦楽のしらべ

詩吟、箏、尺八による演奏

1月11日(日) 12:00～12:45

会場：ホワイエ

観覧無料

羽村市文化協会共催

ゆとろぎで お正月を遊ぼう

参加費無料

お正月遊び、コマ、羽子板、めんこ 他(文化協会)

初釜(茶道会)、書初め(書道連盟)、初生け(華道会)

1月11日(日) 11:00～14:00

会場：交流ひろば、ホワイエ等



主催：羽村市・羽村市教育委員会 問合せ：羽村市生涯学習センターゆとろぎ 電話042-570-0707(月曜休館)

事業協力：茨城県磯節保存会、羽村市日本舞踊若竹の会、公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構(札幌)、ヤイレんかの会、ペウレウタリの会、アイヌアートプロジェクト、公益社団法人落語芸術協会、小河内鹿島踊保存会、伊庭会、東町祇園ばやし保存会、海沢神楽、奥多摩郷土芸能保存団体協議会、羽村市文化協会、ゆとろぎ協働事業運営市民の会

ゆとろぎ伝統文化ウィーク

郷土や歴史に育まれて大切に伝承された市内外の郷土芸能や、日本が誇れる伝統芸能を紹介します。

郷土の伝統文化

西多摩おらがまちの郷土芸能

【第一部】多摩の民謡

歌唱 民謡歌手 伊庭末雄

一般的にはほとんど知られることなく存在してきた多摩の民謡を、羽村在住の民謡歌手 伊庭末雄が各地を訪れ、地元の人々と交流する中で、歌い継いできた人を探し、その唄を楽譜におこして編曲をし、ひとつひとつ丹念に作り上げた作品を紹介します。

羽村甚句、青梅機織唄、多摩白挽唄、多摩棒打ち唄、檜原萱刈り唄、他

【第二部】東町祇園ばやし保存会

お神楽 演目「種蒔き」
(東京都指定無形民俗文化財)

東町祇園ばやし保存会の皆さんが、羽村稲荷神社の秋季例大祭で上演しているお神楽の一つです。このお神楽は、奥多摩町海沢の神庭山祇神社で演じられてきたものです。昨年、東京都の無形民俗文化財の指定を受けました。

小河内の鹿島踊

(国指定重要無形民俗文化財)

奥多摩湖（小河内ダム）の建設に伴い、全戸転出した小河内南岸の日指、岫沢、南、三集落の祭礼に上演されたもので、祇園踊りともいわれました。現在は、町外転出者の協力を得て保存されています。この踊りがいつ頃この地に伝わったものかは明らかではなく、京都から公卿の落人が岫沢に隠れ住んで教えたとも、また旅僧から教えられたものともいわれています。

茨城県磯節保存会公演

ひたちなか市那珂湊の郷土の民謡と、はむらの子どもたちの踊り

【第一部】羽村市日本舞踊若竹の会

文化庁の支援事業「伝統文化親子教室」で、半年間にわたって日本舞踊の基礎を学んだ成果を子どもたちが発表します。

【第二部】茨城県磯節保存会

磯節とは・・・

茨城県ひたちなか市・那珂湊のまちは、那珂川の河口にあって江戸時代は、北海道の海産物、東北地方の米などを船や陸路にて江戸に輸送する中継基地として、また明治以降は漁業基地として繁栄し豊かな文化を育みました。茨城の民謡を代表する磯節はこのようなまちと豊かな自然に育まれて誕生・成長し、豪快な情緒豊かで品位に満ちた名曲に成長しました。磯節をはじめ那珂湊を中心とした鹿島灘沿岸の民謡を紹介します。

アイヌの人々のお話と、唄と踊り

アイヌの人々は、自然と調和し、生活の糧を得て、船を操り周辺の民族と交易を行っていました。アイヌの音楽は、楽器の音色に独特な味わいがあり、唄も心に響きます。衣装、工芸は素朴ですが力強さがあります。この機会にアイヌ文化を体験・鑑賞し、交流してみませんか。

関東で活動するヤイレンカの会とパウレウタリの会、札幌で活動するアイヌアートプロジェクトの皆さんが出演します。